

平成26年 2 月 15 日

教 育 長 様

代表者 校 園 名 大阪市立鶴見橋中学校
校 園 長 名 藤 井 徹

印

(電話 06-6562-0001 FAX 06-6562-0470)

申請者 職名・名前 指導教諭・小野寺 健 印
校 園 名 大阪市立鶴見橋中学校
(電話 06-6562-0001 FAX 06-6562-0470)

平成25年度「がんばる先生支援」事業報告書

平成25年度「がんばる先生支援」について、次のとおり報告します。

1 研究コース (基礎・今日の課題) 研究コース ※()内はいずれかに○を記入してください。
2 研究テーマ 「『人権防災教育』による子どもの生きる力の育成と学校の変革」 研究目的：人権教育を基盤とした防災教育(「人権防災教育」)の確立
3 研究内容(概要) ＜研究内容＞ ○人権教育を動機づけとした防災教育の展開方法。 ○人権教育の手法を踏襲した防災教育の展開方法。 ○東日本大震災をはじめとする過去の震災を「いのち」や「つながり」の視点で学ぶことによって、自分に何ができるかを考え、行動で示していく子どもたちの育成方法。 ○以前から交流のある釜石東中学校をはじめとする東北被災地を視察して、「いのち」や「つながり」を視点とした現状を把握し、教育活動に反映する。 ○教科や特別活動をはじめとしたあらゆる教育活動と連携させた人権防災教育のカリキュラム研究。 ○人権防災教育を軸とした学校運営の確立と保護者・地域・関係諸機関との連携方法。 ○学年別テーマを、1学年を「いのち」、2学年を「行動」、3学年を「つながり」とし、学年を経るごとに学びを積み上げながら、卒業後も地域や社会に貢献できる精神と絆の育成方法。 ＜研究活動＞ ○群馬大学片田敏孝教授講演会参加 ○高知防災視察 ○ユネスコスクール全国大会参加 ○大阪市立大学都市防災プロジェクト参画 ○大阪市消防局・西成消防署との連携 ○阪神淡路大震災防災土曜授業 ○東北防災視察 ○東京防災視察 ○防災チャレンジプラン全国大会参加 ○カンオ計算機(株)CSR「命の授業」招聘 ○避難所訓練合宿実施 以上の視察や教育実践によって、生きる力を育む教育とそれによる学校の変革について成果を検証する。

4 具体的な検証方法と明らかになった成果

①学校防災委員会による生徒アンケート(平成26年1月18日実施)

本校の「いのちの教育」・防災教育を通した生徒の変化を捉えるため、「命を大切にする意識(問1)」「よりよく生きようとする意欲(問2)」「つながりを大切にする意識(問3)」「自己有用感に対する意識(問4)」「防災意識(問5)」「具体的な変化(問6)」の項目についてアンケートした。○「命を大切にする意識」については、「強く思った」88%、「少し思った」11%であった。また、問6では、「命を大切にするようになった」り、「人の命を助けたい」などの記述が出ている。本校の教育の柱としている「いのちの教育」が生徒に浸透しつつあることを示している。

○「よりよく生きようとする意欲」については、「強く思った」83%、「少し思った」16%であった。また、問6では、「いろいろな行事に参加したり、挑戦して、『学ぶ』ことを積極的に少しでもできるようになった」、「よりよく生きようとする思いが強くなった」、「普段のことから真剣にした」などの記述が出ている。また、「生徒会に入ったり自分から行動できるようになった」生徒もいる。本校では、震災から学ぶ教育を実践することによって、信任投票が続いていた生徒会役員選挙の激戦が続いている。今年度後期生徒会役員選挙でも、6名の役員に対して9名の立候補があった。よりよく生きようとし、積極的に、真剣に行動する生徒の育成は生きる力の育成である。第一次釜石交流から本校で大切にしてきた「普段のことから真剣に」というスローガンを、今年度の第二次釜石交流をはじめ様々な取組の中で訴え続けてきたことが奏功していると考えている。「いのちの教育」・防災教育が道徳教育にも効果を上げている。

○「つながりを大切にする意識」については、「強く思った」83%、「少し思った」15%であった。問6では「人との付き合い方をあらためてちゃんとしようとしている」、「『ありがとう』の言葉が増えた」、「思ったことはすぐに伝える」、「人を思う強さ(が変わった)」などの記述が出ている。人権教育の柱となる人を切り捨てず、つながりを大切にする姿勢が「いのちの教育」や防災教育によって育まれている。

○人の役に立ちたいと思うようになったかという「自己有用感に対する意識」については、「強く思った」75%、「少し思った」21%であった。問6では、「人に感謝されるようなことをするようにしている」、「人の役にもっと立ちたい」、「人が困っているときに助けに行けるようになった」などの記述が出ている。生徒の意識は確実に上がっており、先述の生徒会立候補につながっていったり、校内で行うごみゼロキャンペーンなどのボランティア活動にも活気が出てきていることにもつながっている。生徒会の意識も上がり、自分たちにできることは何かを考え、人と人をつなぐあいさつ運動を毎朝正門で行うようになったりするなど自主活動の活性化に役立っている。

○「防災意識」については、「強く感じた」85%、「少し感じた」13%であった。「いのちの教育」で命を大切にする意識を高めていることが防災意識の向上と連動していると考えている。

②学校防災委員会による教職員アンケート(平成26年1月18日実施)

教職員の学校の変革に対する意識調査では、「取組を通して学校がより良い方向に変革している」と「強く思う」55%、「少し思う」45%、「あまり思わない」0%、「思わない」0%となっており、教職員の間で効果が実感できている。また、その理由の自由記述においても別紙のように、この研究の成果が取り上げられている。

③外部評価

- ・平成25年9月30日、本校の「いのちの教育」・防災教育がESD(持続発展教育)に適っているとして、大阪市の中学校で初めてユネスコスクールに認定された。
- ・平成25年11月3日、第65回市立校園職員児童生徒表彰において、学校防災委員会(教職員)と子ども防災プロジェクトチームがともに大阪市長、大阪市教育局により表彰された。
- ・平成25年度報道…NHK、関西テレビ、ケーブルテレビベイコム、毎日新聞、大阪日日新聞

5 研究発表の日程・場所

(日程) 平成26年2月15日 (場所) 大阪市教育センター

※今日的課題研究コースは必ず記入

上記の内容を原則としてA4判2ページで作成し、平成26年2月28日までに大阪市教育センター「がんばる先生支援担当」まで提出すること。(研究内容、資料等を添付すること)